

●TOMASクラウドをご利用のお客様につきましては、従来通り弊社でバージョンアップを行いますのでダウンロードは不要となります。（2020年4月12日予定）

●バージョンアップを実行する前に以下をご確認ください。  
現在のPS7会計システムのバージョンが「7.21.2019.0926」以上であること

●1月末/2月末バージョンアップの変更内容は、  
今回のバージョンアップ内容に含まれております。  
前回の更新内容については、大変お手数ですが、ユーザサイトにログイン後、『マニュアル・資料ダウンロード』⇒『アプリケーション』⇒『PS7会計バージョンアップシステム変更内容 [2020.01.31版] / [2020.02.28版]』を参照ください。

●バージョンアップ後は、「7.31.2020.0410」となっていることをご確認ください。

No.	機能名	内容
1	財産目録	基本・運用で分けて出力する場合、科目の小計が、基本・運用の区分を無視して集計されている問題に対応いたしました。
2	資金収支仕訳入力	以下のオペレーションにて、過年度に仕訳が追加できてしまう問題に対応いたしました。 ①伝票日付を過年度とし、一時保存処理を行う。 ②①の伝票を更新すると過年度の本伝票として登録されてしまう。
3	資金収支仕訳入力	伝票発行ボタン押下時にシステムエラーが発生する可能性がある問題に対応いたしました。
4	資金収支仕訳入力	行の途中から定型仕訳を差し込んだ場合にシステムエラーとなる問題に対応いたしました。
5	決算書印刷	検索条件に一部不要なデータが紛れ込んでおり、一括出力条件設定ボタンを押した際に部門集計パターンが初期表示されない問題に対応いたしました。
6	支払区分別一覧表	支払先登録にて8桁以上のEDIを登録している場合、帳票が出力できない問題に対応いたしました。
7	資金収支月報（照会） 試算表（照会） 決算書印刷（照会）	以下のオペレーションにて、システムエラーが発生する問題に対応いたしました。 ①表示形式：部門内訳表示 or 部門別改頁 を選択し、照会ボタン押下 ②照会画面より、更に明細をダブルクリックし、元帳照会へ遷移（エラーが発生）
8	資金収支月報・試算表など	帳票を印刷した際の条件欄に科目の限定 範囲指定 2件目が印字されない問題に対応いたしました。
9	消費税額計算（原則課税）	【特定収入に係る控除仕入税額の調整計算】においてTOMAS上、特定収入に税率を保持できない仕様のため、「課税支出指定の特定収入に係る仕入税額×税率」の計算部分は最新の税率（10%）でのみ計算するようしております。 令和元年度は混合税率であるため、会計士に確認いただき必要に応じて手計算を行っていただく可能性がございます。計算方法例につきましては、ユーザーサイトに記事を掲載予定（4月中旬）ですのでご確認ください。
10	消費税額計算（原則課税）	各税率毎の収入税額の計算において、小数点未満切り捨てとなるべきが小数点以下四捨五入となっていたため、場合によって1円の誤差が発生する問題に対応いたしました。
11	消費税額計算（原則課税）	「申告書・付表」ボタンで印刷した際、最後に出力される【特定収入に係る控除仕入税額の調整計算】において、軽減税率分が表示されていなかった問題に対応いたしました。
12	消費税額計算（原則課税）	旧税・軽減税率・新税のいずれかが還付の場合、申告書・付表において合計差引税額の金額が不正となる問題に対応いたしました。
13	伝票発行	詳細検索画面で自動仕訳番号を指定しても出力結果に反映しない問題に対応いたしました。
14	収支消込・調整勘定自動仕訳	2020年度で処理ができない場合がある問題に対応いたしました。
15	条件保存画面	既に保存している条件を更新する際に、システムエラーが発生する可能性がある問題に対応いたしました。
16	科目按分登録	按分先2のみに登録されている場合、按分先1に表示されてしまう問題に対応いたしました。
17	グループ償却メンテナンス	除却資産の現在取得価額が0円となる問題に対応いたしました。
18	減価償却シミュレーション	固定資産検索で新規追加した際に、以下の条件でシステムエラーとなる問題に対応いたしました。 ①減価償却パターンに「単価による区分」または「資産ごとに償却方法を設定」のパターンがある ②固定資産検索結果に①のパターンを設定している資産が存在する
19	減価償却推移表Excel出力	システム設定：西暦の場合も 表示年度が和暦になっている問題に対応いたしました。
20	メニュー権限	支払先登録(固定資産)のメニュー権限をALLUP/ALLSS権限に対して付与しました。